

令和4年度 第1回 小平・村山・大和衛生組合ごみ処理に関する連絡協議会 会議録（要旨）

開催日時	令和4年7月16日（土）午前10時から午前11時30分まで
開催場所	小平・村山・大和衛生組合 4・5号ごみ焼却施設 3階大会議室
出席者	<p>地域住民：中島町一番地自治会、中島ハイツ自治会、中島町十三番地自治会、みどり自治会、松の木自治会、幸町6丁目自治会、西武東大和ハイツ管理組合</p> <p>組織市：小平市、東大和市、武蔵村山市</p> <p>衛生組合：事務局長、総務課長、業務課長、計画課長、事務局参事</p> <p>事務局：業務課長補佐、計画課主査2名、計画課主任</p> <p>工事関係業者：川崎重工業株式会社、青木あすなる建設株式会社、株式会社エイト日本技術開発、グリーンパーク小平・村山・大和株式会社</p>
欠席者	地域住民：富士見台自治会、中島町AP自治会、こだま自治会、日東自治会、幸町団地自治会
傍聴者	0名
議題	<p>(1) 連絡協議会会長・副会長の選出について</p> <p>(2) 組織市及び小平・村山・大和衛生組合からの連絡・報告について</p> <p>(3) えんとつフェスティバルについて</p> <p>(4) （仮称）新ごみ焼却施設の工事状況について</p> <p>(5) 意見・要望について</p> <p>(6) その他</p>
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度 第1回（第130回）連絡協議会次第 ・「小平・村山・大和衛生組合のごみ処理事業に関する連絡協議会」設置要綱 ・小平・村山・大和衛生組合ごみ処理に関する連絡協議会構成員名簿（令和4年度） ・小平・村山・大和衛生組合の概要（令和4年度） ・令和3年度 ごみ及び資源物の搬入実績等について（速報値） ・令和3年度焼却施設維持管理状況一覧表 ・令和4年度焼却施設維持管理状況一覧表 ・えんとつフェスティバルについて ・新ごみ処理施設建設工事 工事スケジュール（令和4年度） ・小平・村山・大和衛生組合広報紙えんとつ全域版No. 51
結論	<p>(1) 連絡協議会会長を「中島ハイツ自治会 松原氏」に決定した。また、連絡協議会副会長を「幸町6丁目自治会 木田氏」に決定した。</p> <p>(2) 令和4年第20回えんとつフェスティバルについて、連絡協議会の意見として中止とすることとし、衛生組合管理者において最終決定する。</p> <p>(3) 次回以降の連絡協議会において、いただいた意見について、検討結果を報告する。</p>
審議経過	<p>開会</p> <p>令和4年度第1回連絡協議会の進め方について （計画課長）</p>

令和4年度第1回連絡協議会の進め方について説明を行った。

事務局長あいさつ

(事務局長)

令和4年度第1回連絡協議会開催に当たり、あいさつを行った。

連絡協議会の概要説明

(計画課長)

「小平・村山・大和衛生組合のごみ処理事業に関する連絡協議会」設置要綱及び小平・村山・大和衛生組合の概要(令和4年度)の資料に基づき、説明を行った。

自己紹介

小平市、武蔵村山市の担当課長、衛生組合の担当課長及び担当職員、自治会長及び専任者、工事関係業者の順に自己紹介を行った。

議題(1) 連絡協議会会長・副会長の選出について

(計画課長)

「小平・村山・大和衛生組合のごみ処理事業に関する連絡協議会」設置要綱第4の規定により、構成員の中から互選により会長及び副会長を決めることとなっている。立候補される方、推薦される方はいるか。

(地域住民)

私、中島ハイツ自治会の松原が会長に立候補し、副会長に幸町6丁目自治会の木田氏を推薦する。

(計画課長)

中島ハイツ自治会の松原氏が会長に立候補され、幸町6丁目自治会の木田氏を副会長に推薦された。御異議ある方はいるか。

(出席者全員)

異議なし。

(計画課長)

それでは、中島ハイツ自治会の松原氏が会長に、幸町6丁目自治会の木田氏が副会長に選任されたので、これをもって議事進行を会長、副会長と交代する。

議題(2) 組織市及び小平・村山・大和衛生組合からの連絡・報告について

(連絡協議会会長)

組織市及び衛生組合から連絡・報告事項について説明をお願いします。

(小平市)

3点報告させていただく。1点目は、令和4年7月1日に株式会社ジモティーとリユース活動の促進に向けた連携と協力に関する協定を締結した。ジモティーが運営する地域情報サイトを活用し、不要になった家電等をごみとして捨てずに必要な人へ譲

渡・交換するものである。7月5日号の市報に掲載し、周知をしているので、御活用いただきたい。

2点目は、一般廃棄物処理基本計画が令和4年度末をもって計画期間が満了することから、新たな計画について、10月に素案を作成し、令和5年3月に策定する予定である。

3点目は、ごみゼロフリーマーケットを5月28日（土）に3年ぶりに開催した。会場は小平市のリサイクルセンター横の広場で、当日は天候にも恵まれ、約1,700名の来場があった。

（東大和市）

小平市と同様に、東大和市も一般廃棄物処理基本計画が令和4年度末をもって計画期間が満了することから、現状のごみの排出量等を分析し、市民一人当たりのごみ排出量を定めた計画を今年度末までに策定する予定である。

新型コロナウイルス感染症の影響等により、近年はごみ量が増加したが、ペットボトル等の資源化を促進し、ごみ量の減量化に努めるので、引き続き御協力をお願いする。

（武蔵村山市）

2点報告させていただく。1点目は、5月30日のごみゼロデーに合わせて6月5日（日）に、3年ぶりとなる市内一斉清掃活動のクリーン作戦を実施した。参加者は約2,800名で、ごみ収集量は約320キログラムであった。

2点目は、令和4年10月から家庭ごみの有料化を実施することに伴い、市民説明会、戸別収集先の調査、指定収集袋の減免申請の受付を行っている。衛生組合への搬入を少しでも減らすよう努力するので、引き続き御理解・御協力をお願いする。

（業務課長補佐）

令和4年7月13日（水）に不燃・粗大ごみ処理施設において刺激臭が発生した件について、報告するとともに、御心配・御迷惑をお掛けした。

刺激臭の発生日時は午後2時20分頃で、不燃・粗大ごみ処理施設の手選別室にて、作業していた職員7名が目や鼻やのどの痛みが発生したため、消防署に通報した。

体調不良となった職員7名は消防署による応急措置を行い、経過観察をした上で、救急搬送には至らなかった。また、消防署による施設周辺状況の調査を実施したところ、問題が無いことを確認し、午後4時30分頃に施設の操業を再開した。

刺激臭の発生の原因の特定はできなかったが、施設に搬入されたごみの中に刺激臭が発生するごみがあり、処理をしている過程でガス化したものと考えられる。

同様の事象が発生しないように組織市と連携を図り、市民に対し、ごみの分別の徹底を行うように周知を図りながら、操業するので、よろしく願います。

（業務課長）

令和3年度のごみ及び資源物の搬入実績について、配布した資料のとおり、令和3年度のごみ及び資源物は令和2年度と比較して減少している。主な要因はコロナ禍における巣ごもり需要の減少によりものと考えられ、ごみの面からもコロナ禍前の状況に戻りつつあると思われる。

可燃ごみ広域支援については、衛生組合の焼却炉の定期補修等による2炉停止期間中におけるごみ処理を他団体の清掃工場に処理いただくもので、令和3年度は柳泉園組合、ふじみ衛生組合、西多摩衛生組合に処理委託をした。可燃ごみ広域支援搬入実績は、3団体で年間予定量11,900トンに対し、搬入実績は11,026トンの執行率93%であった。

次に、焼却施設の維持管理状況について、配布した資料のとおり令和3年度については、1年間の実績、令和4年度については、5月までの実績となっている。ダイオキシン類測定については、焼却施設の各所から採取した測定結果である。次に、焼却施設管理について、処分した廃棄物は各焼却炉で焼却処理をした量、ダイオキシン類の発生防止のために維持しなければならない温度、排ガス中の一酸化炭素濃度、冷却設備及び集じん器に堆積したばいじんの除去を行った日、硫黄酸化物、ばいじん、塩化水素、窒素酸化物及び水銀については、排ガス中に含まれる物質を定期的に測定したデータである。いずれの数値も国の定めた基準値内の結果となっている。

引き続き、安全操業に努めていくので、今後ともよろしく願います。

(計画課長)

灯りまつりについては、昨年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となり、今年度についても小平市全体での灯りまつりは中止となったが、新型コロナウイルス感染症対策を適切に施した上で、個別会場での実施は可能であるとの小平市からの了解を得た。

衛生組合としては、地域の皆様との交流を図りつつ、地口行灯を飾る伝統継承のために、こもれびの足湯で灯りまつりを開催することを考えている。

開催日時は令和4年10月5日(水)午後6時から午後8時までで、雨天の場合は翌週の12日(水)に順延する。従来であれば、土日等の休日に開催するところだが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、利用者の少ない平日とさせていただき、出店等は出展せず、何かしらの催し物を企画する。今後の新型コロナウイルス感染症の状況により開催を見合わせさせていただく場合もあるので、よろしく願います。

(連絡協議会会長)

説明について、質疑等はあるか。

(地域住民)

焼却施設維持管理状況一覧表にて、ダイオキシン類等が検出されているが、国の基準値内であるものの、我々市民が何かごみ出しで注意しなければならないことがあるのか。

(事務局参事)

各市のごみの分別ルールに沿ってごみ出しをしていただければ特段問題はない。なお、ごみを出す際に、どのごみとして出すべきか不明な場合は、市に確認いただきたい。

また、リチウムイオン電池については、圧をかけると発火する恐れがあるので、圧をかけないこと、ごみとして出すのではなく、リサイクル協力店にお持ちいただくようにしていただきたい。

焼却施設維持管理状況一覧表に記載のある水銀については、今はほとんど使われていないが、昔の水銀が使用された体温計が自宅にあり、ごみとして出す場合は、他のごみと分けて出すなど市の分別ルールを確認した上で、ごみ出しをお願いする。

(連絡協議会会長)

刺激臭が不燃・粗大ごみ処理施設において発生し、その対策としてごみの分別徹底を図るようだが、何か他に対策はないのか。

(武蔵村山市)

各市でごみの分別方法がわかる冊子やカレンダーを出しているのですが、確認いただき、どのごみとして出すべきか不明なごみがある場合は、市に確認いただきたい。

(小平市)

スマートフォンでごみの分別方法が分かるアプリを提供しているので、活用いただきたい。

(東大和市)

市場に出回っている商品は日々新しいものが出ており、それに対応するため、スマートフォンのごみ分別アプリは随時更新し、ごみ出しの指針となるようにしているので、ごみ分別冊子だけでなく、ごみ分別アプリの活用をお願いする。

(連絡協議会会長)

刺激臭の発生を予防するために、何か不燃・粗大ごみ処理施設で対策を施す予定はあるのか。

(業務課長)

刺激臭が発生した原因は、分別ルールを誤ったごみ出しによるものと考えられるので、まずは市民にごみ分別の徹底の意識の向上を図ることが必要である。

また、令和2年度から稼働している不燃・粗大ごみ処理施設には、搬入されたごみの中から不適物を除去するための手選別室を設けており、手選別による不適物を除去し、施設への搬入を防止している。

また、ごみ収集車を定期的に施設への搬入前にごみの状態を確認する展開検査を行っており、不適物が混入していないかを確認しているので、組織市とともに水際対策を更に強化して対応していく。

(地域住民)

衛生組合は、国際標準化機構 I S O の認証制度の取得はしていないのか。

(事務局参事)

I S O は取得していない。

(連絡協議会会長)

新聞を読み終えた後に、チラシと一緒に新聞業者に回収してもらっているが、新聞とチラシは分けて回収してもらった方がよいか。

(事務局長)

新聞業者としては、チラシと一緒に含まれていてもリサイクルするのに支障がないことから、新聞とチラシを分別するように周知していない。

議題(3) えんとつフェスティバルについて

(連絡協議会会長)

えんとつフェスティバルについて、衛生組合から説明をお願いします。

(計画課長)

えんとつフェスティバルの資料のとおり、えんとつフェスティバルは、衛生組合と地域のつながりのきっかけづくり、衛生組合の周知・啓発、ごみ問題に関する環境を考えるきっかけづくりを柱に、地域住民の方々をはじめとする皆様のご協力をいただきながら開催しているが、ここ3年は台風や新型コロナウイルス感染症の影響により、やむを得ず中止となった。

新型コロナウイルス感染症については、東京都新型コロナウイルス感染症モニタリング会議において、爆発的な感染状況であり、基本的な感染防止対策の実施等の見解が示されたが、現在のところ、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が適用される見込みはない。

また、現在、新しい焼却施設の建設工事のため、会場は4・5号ごみ焼却施設の東側のスペースだけとなる。

組織市3市の市民まつりは小平市は中止、東大和市は規模を縮小しての実施を検討中、武蔵村山市は実施する方向で調整中である。

それらを踏まえ、えんとつフェスティバルを開催すべきか意見を伺いたい。

(連絡協議会会長)

説明について、質疑等はあるか。

(出席委員全員)

質疑なし。

(連絡協議会会長)

それでは、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況にあり、昨年度と同様に連絡協議会としては中止することでよいか。

(出席委員全員)

異議なし。

(連絡協議会会長)

今年度のえんとつフェスティバルについては、連絡協議会としては中止という意見とし、衛生組合管理者に最終決定していただく。

議題(4) (仮称)新ごみ焼却施設の工事状況について

(連絡協議会会長)

(仮称)新ごみ焼却施設の工事状況について、衛生組合から説明をお願いします。

(計画課主任)

新ごみ処理施設建設工事工事スケジュール(令和4年度)及び小平・村山・大和衛生組合広報紙えんとつ全域版No. 51の資料のとおり、新ごみ処理施設整備・運営事業について、既存施設の老朽化に伴い、令和2年5月に川崎重工業(株)を代表企業とする川崎重工業グループと契約し、DBO方式による発注を行った。新しい施設

は既存施設と同様にストーカ式焼却炉で2炉で1日236トンの処理能力を有し、既存施設にはない6,000キロワットの発電能力があり、災害時には電気の供給などができ、施設周辺住民の一時避難所として活用できる予定である。

今年度の工事は、3号ごみ焼却施設の解体工事が6月末で完了し、現在、掘削工事を行っており、9月末に掘削工事が終わる予定で、10月からはコンクリートの打設工事を行う予定であるので、御理解・御協力をお願いする。

(連絡協議会会長)

説明について、質疑等はあるか。

(地域住民)

薬用植物園の裏手入口の破損していた道路が補修されたが、どこが対応したのか。

また、松の木通りは道路上に電柱や木々等もある中で幅員が狭く、工事車両が通行するには、一時停止して反対車両を通行させてからでなくては通行ができず、そのため、幅寄せによる側溝のひび割れや後続車の通行の妨げとなっている。衛生組合と工事関係者において、良好な交通状況になるように対処いただきたい。

(計画課主査)

薬用植物園の裏手入口の道路現場に出向き、破損していることを確認した。工事車両の往来が多くなったことが一つの要因と考えられ、道路管理者である小平市に相談し、薬用植物園の裏手入口に工事車両を幅寄せしないように指導を受けたところである。

また、衛生組合の工事スケジュールを伝えたところ、現状復旧している状態のアスファルトによる補修を行い、工事が完了した後に舗装工事を行う予定である。

なお、アスファルトによる補修工事は小平市で対応した。

(地域住民)

薬用植物園の裏手入口の道路が破損した原因は、工事車両の通行によるものと考えられ、小平市が補修するのではなく、工業者が補修すべきではないか。小平市と衛生組合でどのような協議をしたのかは不明だが、今までごみ収集車が通行しても破損のなかった道路が今回破損したのは工事車両以外に考えられない。小平市が補修しなければならぬのであれば、その理由や経過について次回以降の会議で報告いただきたい。

(計画課主査)

小平市と協議し、次回以降の会議で何らかの形で報告させていただく。

(連絡協議会会長)

工事の実施に当たっては、地域住民の生活に最大限配慮して行うことが前提にあるので、今回の破損した道路の状況への対応などを含めて、小平市と協議した内容を次回以降の会議で示せるように調整いただきたい。

(計画課主査)

了解した。

(地域住民)

新しいごみ処理施設のイメージのデザインにおいて、施設を一周できるような設計

になっているようだが、市民が見学することを想定して設計したのか。

(計画課主査)

そのとおりである。施設2階からごみピットやごみクレーン等の環境啓発スペースの様子を見学できるようにするとともに、現在稼働している不燃・粗大ごみ処理施設の見学もできるように通路がつながるように設計している。

(地域住民)

見学はできるようだが、子どもが1日中遊べるような施設にできないのか。テーマパークまでとはいかないが、新しいごみ処理施設のイメージから見ると大衆受けするような設計になっていないのではないか。

(事務局参事)

他の市町村等のごみ処理施設と比較すると緑との調和を生かし、圧迫感のない施設とし、市民に親しまれるように設計したところであるので、御理解いただきたい。

(地域住民)

施設の壁に子どもが絵をデザインするといったことを盛り込んでどうか。

(事務局長)

皆様の意見を最大限取り入れて、市民にとって親しみのある施設としたいと考えており、次回以降の会議で何か皆様に御意見いただけるようなものがあれば、提示するので、よろしくお願いします。

(連絡協議会会長)

新しいごみ処理施設の設計に当たり、我々地域住民の意見を色々取り入れていただいたところであるが、人によって意見や見方が違うところもあるので、これからも本会議で衛生組合から地域住民の意見を取り入れられるものがないか検討いただきたい。

(事務局長)

工事のスケジュールから皆様の意見を取り入れられない場合もあるが、最大限努力させていただく。

議題(5) 意見・要望について

(連絡協議会会長)

今までの議論を踏まえ、何か意見・要望等はあるか。

(出席者全員)

特になし。

(連絡協議会会長)

これにて、令和4年度第1回連絡協議会を閉会する。

上記内容を確認したので、署名する。

令和 年 月 日

小平・村山・大和衛生組合の
ごみ処理事業に関する連絡協議会 会長 _____